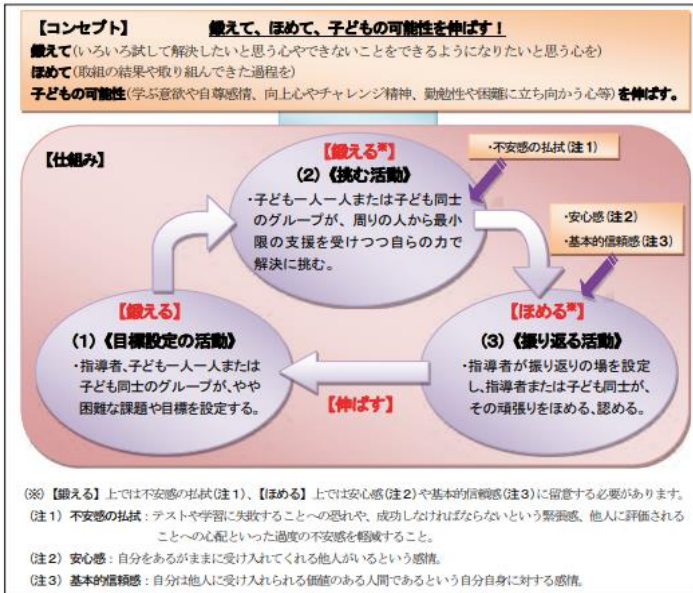


このように、自分の目標に向けた子どもたちの頑張りを見守り、励ましなが、次の目標にステップアップさせていきたいと考えています。その方策の一つとして、福岡県教育委員会が推奨している「鍛ほめメソッド」を紹介します。「鍛える」とは、「鍛える」と「ほめる」ことをつなげ、子どもに自立的に努力する習慣や、周囲に対し自分の役割や責任を果たす習慣を身につけさせる指導方法です。



「鍛える」とは、子どもがチャレンジしたくなる状況をつくり、子どもをその気にさせる工夫をします。また、その気になった子どものチャレンジをあきらめさせない、見放さない配慮を指します。

また、「ほめる」とは、ほめることで終わりせず、ほめることを「始まり」ととらえ、ほめることを通して、努力ができる自分や、やればできる自分への手応えを感じさせ、更なる意欲を引き出すことをねらう行為を指します。

10月3日に担任が子どもたちに手渡す「あゆみ」が、このメソッドの「ほめる」

ことから「次の目標設定」へのステップ以降につながることを期待しています。そのために、保護者の皆様、子どもたちの頑張りや「ほめ」、「次の目標設定」につながる声掛けをよろしくお願いたします。

(例)「前期は、ノートに自分の考えを書くことを頑張った...と先生が書いてくださっているよ。本当によく頑張ったね。ノートに自分の考えを書くことは将来、仕事に就いたときに必ず役に立つよ。これからも続けてね。」

保護者の皆様の温かい言葉掛けが、子どもたちの意欲につながります。ご協力よろしくお願いたします。

<ティーブレーク>～最近、嬉しかったこと～



今、児童運営委員会の皆さんが代表委員会で提案して、全校で取り組んでいるのが「あいさつの木」です。子ども同志で挨拶が上手な子を見つけ、その児童に色のついた紙を渡します。もらった児童は、児童昇降口に掲示している「あいさつの木」に色のついた紙を貼り、全校で挨拶いっぱい为学校にするために、「あいさつの木」に花を咲かせていくのです。子どもたちの頑張りや、写真のようにたくさんの花が咲いています。この花がさらに多くなり、太宰府東小学校が今よりもっと明るいあいさつに包まれる学校となるよう願っています。